

# 1・2年 大学進学ガイダンス

11月13日

講師に京都大学教育推進・学生支援部 入試企画課 荻野隆司 先生をお招きして、テーマ「国立大学の魅力」、サブテーマ「国立大学の学びで将来をどう切り開くか」「県外の国立大学に進学する意義」として、大学進学ガイダンスを実施しました。

国立大学は多くの国民の税金を投入されている研究・教育機関なので、国立大学へ進学することは、大きな国民の期待を受けることなのです。また、多様な研究に対応しており、京都大学では枠にはめない研究が実践されています。

京都市は、人口の1割が学生と言われており、正に学生の街です。県外の大学へ進学し、自宅から離れることで自立や自律する力が育つのではないかと、また、そのような力は、社会人として求められる力の一つです。

受験失敗の原因の多くは、準備不足です。毎日の授業を大切に、予習・復習は大学でも必要です。教科書の内容はすべて理解するつもりで取りくみましょう。早い準備をするためにも、将来どのような学びを研究をしたのか、早くからの学部選びが必要です。

以上のようなお話を聴いて、生徒たちは国立大学の理解を深めることができ、学習への意欲が沸き立つガイダンスとなりました。

## ガイダンスの様子

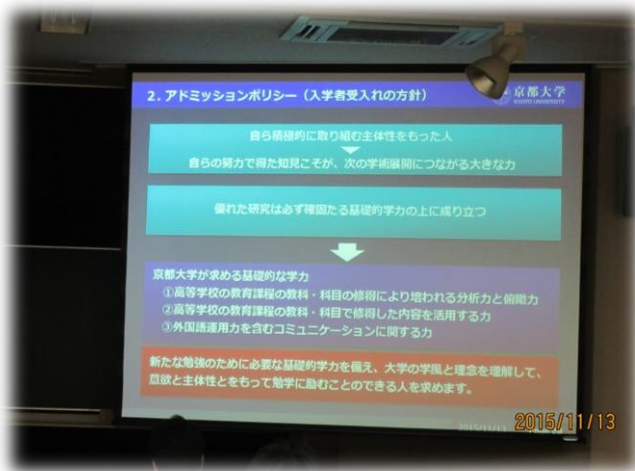




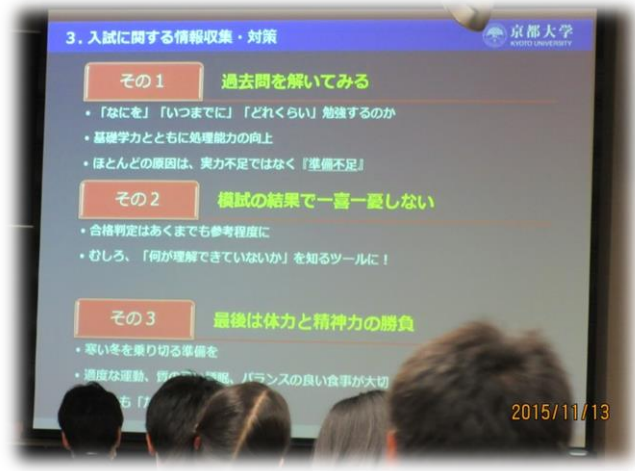
大学を近いからという理由だけで選ぶのではなく、折角4年間大学に行くのだから、自分が学びたい学部を選ぶことが大切である。地元を離れ、親元を離れることで身につく力があることが分かりました。



国立大学の規模の大きさに驚いた。学びたい学問に国立大学であれば出会えるのだと確信した。目標を高く持って国立大学を目指して頑張りたい。



大学選びではなく学部選びという言葉が印象に残りました。大学のイメージで選んでいるので、もう一度、自分のやりたいことがある学部から探してみようと思います。



大学選びではなく学部選びということに納得しました。「誰もやったことのないことを成し遂げたい」という言葉に感動しました。自分も何かの研究に打ち込み、成し遂げたいと思いました。そのためには、もっと勉強と部活動に目的意識をもって励んでいきたいと思います。



「将来、何を学びたいか、何を研究したいかを見つけよう！」  
がんばれ美高生！！